Higashi's Health



令和元年 12 月 17 日 春日井東高校(保健室)



平成から令和へと移行して最初の年末を迎えようとしています。 冬休みはあまり長い期間ではありませんが、少しでもゆったりとした 時間を過ごせるといいですね。ただし、生活習慣が乱れた昼夜逆転の生 活や羽目を外して危険な誘惑にのってしまうなどの行動がないように くれぐれも気を付けましょう。

受験を控えている人にとっては、気持ちに焦りが出 る頃です。気負いしすぎず、集中する時と自分を緩め る時をバランスよくとれるように工夫しましょう。



負けられない戦い(受験等)がそこにある 人間の



勝つ秘袋 (方法・乗り切る方法) を先生方から闻いてみよう!!

3年牛保健委員がインタビューしてきました!

女子保健委員▶伊藤 絵美理先生

攻めるより守れ! 絶対負けないように準備をする。 備えあれば憂いなし。

男子保健委員▶菊池 杜史先生

日々の体調管理 毎日のコンディションの良い状態で 勉強(練習)に取り組む

女子保健委員▶鈴木 貴晃先生

やるだけやった後はゲン担ぎ! カツを食べたり、勝負パンツを履いた り、神頼み!

男子保健委員▶安藤 真美先生

力みすぎない 「大丈夫 なんとかなるさ」っと思う

男子保健委員▶鈴木 泰裕先生

早寝早起き 合格した自分をイメージする

男子保健委員▶加藤 由利子先生

練習は本番のように、本番は練習のように。 チャンスは備えのある者に訪れる。 "Where there in a will, there in a way"

女子保健委員▶鈴木 杏奈先生

努力、気合い!

女子保健委員▶寺田 祥子先生

少し取り組むと不安になる、 さらに取り組むと不安が自信に変わる だからとことんやりぬく。 くじけそうになったら自分を応援してく れている人を思い出す。そうすれば、 怖いものなしです。

男子保健委員▶鈴木 信先生

最後まで諦めない 自分を信じる

男子保健委員▶加納 嘉人先生

自分に厳しくする



男子保健委員▶加藤 絵美先生

健康、環境を整えることは大切なこと。 大事なのは、その高みに向かっていく気持ちをどのよう に高めるか。「覚悟?覚悟なら無いこともない。」

女子保健委員▶馬場 健輔先生

よく食べ、よく寝る カツ丼を食べる 自信がつくまで勉強する



ウイル

(感染性

番多い飛沫感染

感染者のせきやくしゃみで飛び散った しぶきが、口や鼻から入って感染する ことがほとんどです。

ウイルスのついたものをさわった手で、 口や鼻をさわる「接触感染」や部屋の 換気をしないために空気中に浮かんだ ウイルスで「空気感染」することもあ ります。



38°C以上の発熱、頭 痛、関節痛、筋肉痛、 全身のだるさが急に 起こる。のどの痛み、 鼻汁、くしゃみやせ きがでることも。



抗インフルエンザウイルス薬を、発症 から48時間以内に服用すると、発熱期 間が1~2日間短縮されます。早めに

あとは、安静・睡眠・水分補給。



- ・食事の前や外出か ら帰ったら必ず石 けんで手洗い。
- ・空気が乾燥すると のどが弱ってウイ ルスに感染しやす くなります。加湿 器で湿度を50~60 %150
- ・人ごみへの外出は なるべくやめまし よう。

アルコール消毒も効



とっさのせきやく しゃみは、手でガ ード。あとで手を 洗いましょう。



(ほとんど経口感染)

- ・感染者の便や吐しゃ物から手にうつ ったウイルスが、口から入って感染 します。
- 人の接触が多いところでウイルスを 吸い込んだり、直接うつったりしま
- ・感染した人が調理したものからうつ ります。
- ・ウイルスに汚染された二枚貝や、十 分に加熱されていないものを食べて うつります。

ノロウイルスの感染力は、強力!



症状

おう吐、下痢、腹痛。



熱はあまり出ません。





かかってしまったら

抗ウイルス薬はありません。

- ・脱水症状を起こしたり、体力を消耗 したりしないように、水分と栄養の 補給は十分に。
- 1~2日で自然に治ります。

下痢止めの薬は、回復を遅らせること があるので、勝手に飲むのはやめまし よう



予防

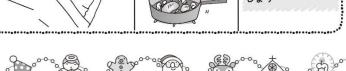
- ・食事の前やトイレ の後などには、必 ず手を洗いましょ
- 食品は、しっかり 中まで火を通して 食べましょう。
- ・感染した人のおう 吐物や便、それら がついたものには



気をつけること

- ・便や吐しゃ物は、 乾く前に素早く処 理! そして換気。
- ・床などは、ふき取 った後、塩素系漂 白剤で消毒。
- ・汚れた衣類も塩素 系漂白剤で消毒。 スチームアイロン も効果があります。

処理をする時は、使 い捨てのエプロン、 マスク、手袋をしま しょう



12月1日は世界エイズ

HIV/エイズに関する取り組みは、大きな転換期となっています。HIVに感 染してもいち早く治療を開始すれば、エイズの発症を防ぎ、また体内のウイルス量 が減少するために、他の人への感染リスクが大きく低下することも確認されていま す。つまりHIVに感染しても、感染していない人と同等の生活が期待できるようになりました。



けれどそうした変化が、正確な情報として十分に伝わっているとは言えま せん。いまだ「治療法がなく」「死に至る」病気だという認識の人もいます。 進歩するエイズ治療の現在とHIV検査の重要性を伝えるには、知識のUP DATE (更新) が必要です。それがHIV検査のいち早い受検につながり、 エイズの蔓延を防ぎます。

査内容等が気になる人は、 保健室に声をかけ

所 検査を受け 岩西 名で保 は 3 年 健 前 所 に 等の 名古屋市内 指定さ-1

Ι

無料

匿